

ニュースレター No.72

令和の新しい年「繋がる」いのちを考える

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 上野 恭子

皆様には日頃より、福岡県助産師会の活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと令和を迎えての祝賀ムードに続き、ラグビーワールドカップ日本開催での日本中が様々なシーンで胸を熱くし、世界中の人々との熱戦の勝敗に関係なく健闘を称えあったことが思い返されます。しかし、自然災害の猛威や様々な気候変動予兆を感じた年でもありました。

厚生労働省が2019年12月24日に出生数は86万4,000人と推計されると報告され過去最少で、初めて90万人を下回っています。減少するとの予測はありながらとてもショックな数字であり、少子化は今後も大きな影響をもたらすと考えています。

リプロダクティブヘルツ／ライツの意義である女性の生涯を通じた健康支援、特に妊娠・出産期・子育て期では一貫した母子保健サービスの提供を勤務助産師や開業助産師、更に、地域に根差した支援を実践している有床・無床の開業助産師の存在があります。今後の地域での充実した活動が、この少子化を少しでも食い止めることへの一助になればと願っています

少子化の背景には様々な問題がありますが、2019年12月母子保健法一部改正で産後ケア事業の法制化がされました。母子を取り巻く地域で、継続的支援を母子に特化した助産師が期待されています。この産後ケア事業を福岡県内で実施、拡大することで、「楽しかった育児は」の言葉をいただくことができると考えています。

それに伴い、日本助産師会では産後ケア実務助産師研修が実施されます。「今こそ知りたい 助産師のための産後ケアガイドライン」が日本助産師会から2019年3月に発刊されています。知識・技術・実践できる助産師であって社会的な認知を高めるとても大事であり、母子のための「繋がる」いのちへの支援ではないでしょうか。

仕事の合間に小学校の校庭を見ながら年齢を重ねて感じていることがあります。幼き頃の小学校で遊ぶ自分が、いのちを見守る仕事につき、そして「繋がる」いのちから多くの教をいただいた助産師という仕事に感謝したいと思っている日々です。

第4次産業革命でAIの時代になれば、仕事が大きく変化していきます。AIに代替されない仕事として、私たち助産師は今後の方向性を見つめ、地域で求められる母子支援を考えていくことが今後の方向性を示してくれるはずです。

今後とも、福岡県助産師会へのご協力、ご支援を宜しくお願い致します。

表彰

副会長 稲富 博美

受賞された皆様おめでとうございます。

<福岡県家族計画協会長表彰>

本会より推薦（5名）永田優子氏（北九州地区）、永松美雪氏（宗像地区）、成松志野氏（宗像地区）、村尾和美氏（宗像地区）、坂田裕美氏（筑後地区）

上記5名が表彰されました。

<福岡県母子保健家族計画事業功労者知事表彰>

本会より推薦（2名）重久優子氏（筑豊地区）岡部敬子氏（北九州地区）、市町村より推薦（1名）木下広江氏（北九州地区）

上記3名が表彰されました。

<福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰>

本会より、佐藤香代氏（福岡地区）が表彰されました。

<福岡県公衆衛生功労者理事長表彰>

本会より、豊田晴子氏（筑紫地区）、内田美智子氏（北九州地区）

上記2名が表彰されました。



<厚生労働大臣表彰>

久留米市より推薦、吉崎房子氏（久留米地区）が表彰されました。

<日本家族計画協会会長表彰>

久留米市より推薦、中園登志江氏（久留米地区）が表彰されました。

<母子愛育会会長表彰>

久留米市より推薦、橋本洋子氏（久留米地区）、本会より推薦、松山まどか氏（遠賀地区）が表彰されました。

<母子保健奨励賞>

稲富博美氏（筑豊地区）が表彰されました。



部会活動報告

勤務部会長 島/江 栄子

平成から令和にバトンタッチした時期に勤務部会を任されましたが、「助産師会の時代を切り開いていく」という思いは達成できなかったことを、まず陳謝致します。価値観や人生観の違いが見る目を変えますが、勤務助産師部会は助産所部会・保健指導部会と協働しながら、お互いの強みのタテ糸（今も昔も人の言っていることを聞く）ヨコ糸（福岡で、九州で、日本で言っている人のことを聞く）の掛算（エピソードではなくデータで考える）が必要でした。

しかしながら、うまく機能させることができませんでしたし努力もしませんでした。このことから、勤務助産師会が切れ目のない体制作りに向かうべく方向性としての私見を記述し

てみたいと思います。

1. 産前・産後ケアのより具体的な標準化（助産師：第73巻第2号参照）

2018年12月「成育基本法」可決。これを受けて産後ケア事業の対象者が4カ月から1年へと、2019年に閣議決定しました。予算もつきます。

何をどのように展開していくのかは、今こそ助産師の腕の見せどころです。

NICUやGCUから退院する児とその家族への退院支援体制

文字通り切れ目のない看護の推進です。スムーズな在宅移行へ支援するためには、それぞれの家族の状況に応じた支援が必要です。そのための『連携』は必須で、組織横断的な活動がカギとなります。加えて専門的な研修の受講は、積極的に行う必要があります。

ところで、「介護医療院」（平成30年4月開設：福岡県第1号）の存在はご存知ですか？慢性期の医療ニーズに対応する医療・介護サービス提供体制について、具体的な改革の選択肢等の在り方を国レベルで検討した結果、長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象に、日常的な医学管理や看取りやターミナルケア等の医療機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設のことです。

中長期的な慢性期というキーワードを考えると、NICUやGCU版があってもよいのでは！産後ケア事業と結びつけて、今後深考するターニングポイントと言えそうです。

2. 産科救急医療体制の強化

緊急度と重症度を判断する上での役割強化のため、特に産科危機的出血への対応として、発生を回避するとともに発生した場合に適切に対応するためにトレーニング研修は必須です。また、ハイリスク妊産婦管理加算で院内助産や助産師外来の取り組みを更に強化し、医師との役割分担や連携の方法を決めることも重要です。

3. ハイリスク妊産婦連携指導料に妊娠糖尿病モデル版を

2018年度に「ハイリスク妊産婦連携指導料」として、精神疾患を持つ妊産婦に対して、産科・精神科・自治体と連携することで指導料加算ができるようになりました。

今後、産科と糖尿病を専門とする内科等が連携することで、より安全な妊娠継続・効果的な血糖コントロールや合併症の予防を行うことができる体制作りが必須と考えます。そのために「福岡糖尿病療養指導士」の取得をめざす研修受講をお勧めします。現在、福岡地区では約950名の認定者が活動していますが、職種は看護師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師・理学療法士で、助産師は3名しかいません。また、ハイリスク妊産婦管理加算で院内助産や助産師外来の取り組みを更に強化し、医師との役割分担や連携の方法を決めることも重要です。

4. アドバンス助産師の取得

質の向上と維持のためには絶対必要です。今後、診療報酬上、加算検討の対象となるケースは、要件として「アドバンス助産師」の配置は不可欠と考えます。

助産所部会長 澁谷貴子

福岡県の分娩取り扱い施設は、2020年の1月より、有床が9か所、無床が3か所で事業を行っております。2019年より、嘱託医問題に取り組んでまいりましたが、会員である有床助産所が無床化せざる負えない事態が発生致しましたことを、ご報告いたします。

この問題は今後、開業を目指すすべての助産師の問題であるという事を、真剣に考えて頂きたいと思えます。原因のひとつに、産科医師不足、医師の働き方改革によるもの、NICU閉鎖、産科クリニックの閉鎖があります。また、医師との対話不足もあって、一方的に嘱託医療機関から連携や契約を解除されるという事態が生じています。そして、このような状況になった助産所を助けるシステムが無いのが、現実です。様々な、妊産褥婦が抱える問題を直視しますと、分娩の取り扱いのみならず、地域の母子をどのように開業助産師が支え、ケアしていくのかという状況をクリニックや2次救急、3次救急の医療機関と今こそ、密に連携していかねばならないと考えますが、事態は逆方向に動く一方です。

嘱託医問題は、かねて昔から、全国の助産所部会の会議でも度々、議論されてきた問題ですが、当会としては、今までは個人の助産所の努力義務とされ、当会が積極的に会員を救済するようなことはありませんでした。しかしながら、周産期医療協議会、妊婦健康診査先天代謝異常検査、聴覚検査などの会議が行政機関と行われるようになり、これらのすべては、助産所部会の会員の業務に直結する項目ばかりです。組織としての交渉を円滑に行うためには、実働部隊である助産所部会の部会長（理事）が出席し必要な意見や交渉にあたる事が大事であり必須であると考えます。

昨年、プライベートで日光東照宮に観光旅行してきました。歴史ある絢爛豪華な美術建築を堪能し、徳川家の荘厳さに感極まりました。皆様ご存知の「見ざる・聞かざる・言わざる」を鑑賞し、こう感じました。「しっかり現実を見て、弱き者、苦しき者の話をしっかり聞いて、しっかり責任ある意見を言って対話して」であるべき。部会長として更なる努力をしてみますので、令和2年もどうぞよろしくお願い致します。



院長助産師
澁谷貴子

開業助産師の技と知恵を学びませんか

助産ケアを深める会 セミナー随時開催中！
短期留学制度有り

しぶや助産院

〒811-4231 福岡県遠賀郡岡垣町旭台3丁目11-5
TEL：093-282-3476
Mail：heartfullmoonbaby@gmail.com

アロマスクール
Mother Rose
～開講中～

アロマセラピーを学んで
助産ケアに役立てませんか

しぶや助産院

2019年 九州・沖縄ブロック研修会報告

九州・沖縄ブロック研修会 実行委員長 椎葉美千代

2019年11月9日（土）、10日（日）に、鹿児島女子短期大学で開催されました九州・沖縄ブロック研修会に、福岡県助産師会の実行委員12名が参加しました。

鹿児島県助産師会は、テーマ「支えあおう！暮らしの中のお産・子育て～助産師力 全開大！！～」を掲げ、鹿児島の病院、助産院、行政、大学が一丸となって研修会を盛り立てていました。表1に示しましたプログラムを見てもらえれば伝わるかと思えます。研修を受け、本邦の助産の動向や鹿児島の地域包括支援の取り組みを理解することができました。避難所運営ゲーム（Hinanzyo Unei Game；HUG）を用いた災害シミュレーション演習は、楽しく判断力を培うことができ、印象に残るものでした。GLOCMiP研修も企画されており、バランスよく構築されていました。

研修会参加者は140名程だったと聞いています。鹿児島県の会員の参加が大変多かったそうで、懇親会の動きをみても助産師間の絆や結束力を感じました。さて、次年度はどんな福岡県助産師会の姿をお見せできますでしょうか？福岡らしいおもてなしを考えましょう。

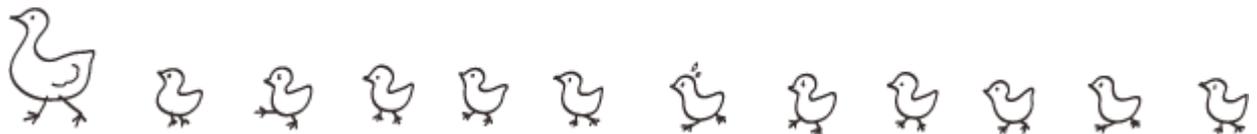
表1 鹿児島のプログラムと担当者

1日目

9:30	9:45	10:00～ 10:40		10:50～12:30		13:30～15:45	16:00 ～ 17:30	18:30
受付	開 会 式	会長講演 日本助産師 会会長 島田真理恵 氏	休 憩	シンポジウム 「切れ目ない助産 師の継続ケア」 シンポジスト 鹿児島県 保健師 鹿児島市 保健師 総合周産期母子医 療センター助産師 助産院助産師 保健指導部会長	昼 休 憩	公開講座 「パパの笑顔が未 来を変える～男性 の育児参加が家 庭・社会に生み出す メリット～」 講師：安藤哲也氏 NPO 法人ファザーリ ングジャパン 代表 理事	三 部 会	懇 親 会

2 日目

9:00	9:15~10:45		11:00~12:30		13:30~15:00	15:00
受付	CLoCMiP®認証研修 フィジカルアセスメント【妊 娠期】 講師：上塘正人医 師 鹿児島市立病院産 婦人科部長 講師：坂野美希子 助産師 鹿児島市立病院 主査	休憩	CLoCMiP®認証研修 助産記録 講師：井上尚美助産師 鹿児島大学医学部保健 学科講師	昼 休 憩	特別講演 「社会で支える子育て ～愛着障害に焦点をあ てて～」 講師：根路銘安仁医師 鹿児島大学医学部保健 学科教授	閉 会 式
	分娩施設の災害シ ュレーション演習 ファシリテーター：鹿児島 県助産師会会員		分娩施設の災害シミュレ ション演習 ファシリテーター：鹿児島県助 産師会会員			
	心の支援～傾聴法～ 講師：佐々木浩介臨床心理士					



2020年九州・沖縄ブロック研修会(in福岡)お知らせ

九州・沖縄ブロック研修会 実行委員長 椎葉美千代

九州・沖縄ブロック研修会実行委員会は、常任理事、実行委員長、副実行委員長、各地区から選出された2名の実行委員、計23名で構成され、「研修会企画」「会場」「懇親会」「会計広報渉外」の4部門を設置し、活動しています。これまでに4回の会議を重ね、決定しましたことを報告いたします。

テーマ：今伝えよう ばり楽しかよ お産と子育て —令和新時代！助産の原点—

会期：2020年10月31日(土)、11月1日(日)

会場：純真学園大学 福岡市南区筑紫丘1-1-1

懇親会：西鉄ソラリアホテル(西鉄福岡(天神)駅直結、1日目18時30分～)

お産や子育ては苦しい、つらい、孤独といったマイナスイメージで表現されることがあります。このような時代、お産の感動や子育ての喜びを伝えることができる助産師でありたいという思いを、福岡の方言「ばり楽しか」という言葉で表しました。令和という新時代に応じた助産と、いつの時代も変わらない助産の原点について、両面から考える機会にしたいと考えています。2020年10月31日は大安吉日の土曜日でした。急ぎ、参加者の宿泊施設確保に動いています。会場は、純真学園大学に多大なる協力をいただきました。

仕事の合間をぬって活動してくれています委員会メンバーに感謝しますとともに、会員の皆様からはよりよい研修会にするための意見等がありましたら、各地区の委員会メンバーに伝えてくださいますとうれしく思います。また、「広報渉外」部門から研修会資料への広告掲載や展示ブースの出展依頼がありました際には、ご協力およびご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



国際助産師の日イベント報告

組織強化委員会 松元 久美子

昨年10月27日(日曜日)に、北九州市小倉南区の小倉医療センター内の地域医療研修センター「鷗ホール」において『国際助産師の日2019』を開催いたしました。

今年は「助産師：女性の権利の護り手(まもりて)」というテーマで、2017年6月24日に日本にて公開上映された「いのちのはじまり」～子育てが未来をつくる～の上映会を企画いたしました。この映画は、子ども達の成長に本当に必要なものは？という問いかけに、経験と研究に基づいたメッセージドキュメンタリー映画です。

会員・非会員・助産学生を含め50名の方に参加して頂き、「子育てに何が一番大切なのか、改めて考えさせられました。孫の時に活かします。今後の仕事にも」「とてもいい会に参加させてい頂きました。」「もっとたくさんの方に見て欲しい。」などの感想を頂き、アフターシェアタイムにおいては、「いろんな意見が聞けて良かった。」など、参加者からは「良かった」と回答を頂き、好評を得ることができました。

日本でも、ネグレクト、虐待等の悲惨な事件・事故が報告される中、親や祖父母を含め、育児に関わる他職種のスタッフが連携し、子どもの行動の意味を理解することで、現代の育児環境をより良くしていく事につながると考えさせられる上映会でした。



福岡市
産後ケア事業の
受け入れ施設です

ご縁を大切に、必要とさせていただきます方に寄り添える
助産院を目指しています


since2000

助産院 mamita(マミータ)は、妊婦健診・お産サポート・産後ケア・母乳育児相談・ベビーマッサージ・妊娠・出産・産後・離乳食に関するお話しなどを行なっています

mamita
助産院 マミータ

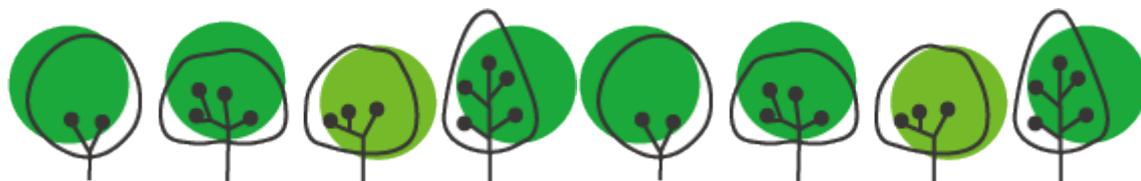
福岡市南区大池2丁目12-3 TEL&FAX | 092-553-5503
HP | www.mamita.jp Mail | info@mamita.jp
診察時間 | 9:00-17:00(要予約) 休診日 | 水曜・日曜・祝日

研修会報告

教育委員長 吉田 静

今年度の研修会全日程を12月に終了いたしました。多くの会員、非会員、学生の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度より、研修会申込み方法や会場の変更、研修会参加費の事前入金など多くの変更を行い、会員の皆さま方にご迷惑をおかけしました。研修会にご参加くださいました皆さま方のアンケート結果を参考に2020年度研修会計画では、昨年に引き続きアドバンス助産師申請・更新に活用できるウイメンズヘルスケア能力に関する内容他、多くの会員の皆さまに役立つ産後ケア事業や虐待、骨盤ケアなどを講義と演習を盛り込んだ内容を検討しております。

また今年8月には初めてのアドバンス助産師更新を迎えます。更新要件は区分によって異なりますので、ご自分の区分に沿った更新要件をご確認ください。どうぞ次年度もよろしく願いいたします。



地区活動報告（遠賀地区）

遠賀地区理事 高橋 愛子

遠賀4町（芦屋・水巻・遠賀・岡垣）と中間市からなる遠賀地区は、会員数12名（勤務部会8名、助産所部会2名、保健指導部会2名）の少人数地区ですが、遠賀地区には2か所の有床助産院、保健指導等を行う開業助産所が2か所、助産学科のある学校が2校と助産師学生の育成にも携わっている地区です。

各有床助産所では、お産を主にお手伝いさせて頂いていますが、イベントやお話会・サークルなど地域に密着した母子支援を行っており、地区のネウボラを目指しています。

少子化や妊産婦の自殺・虐待など問題は山積みですが、妊娠・出産・子育て中の方々と直接関わっていく中で少しでも問題解決ができればと思っています。

これから産後ケアも充実してきます。病院・企業・行政の方々等と協力して遠賀地区が親子に優しい地区であるように 私達も関わって行きたいと思っています。



学校法人福岡保健学院みずまき助産院ひだまりの家

木の香りいっぱいの、身体に優しい助産院です。
あかちゃんとそのご家族が笑顔になれるよう、お手伝いさせていただきます。

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14-50

[Tel: 093-201-7731](tel:093-201-7731) / [Fax: 093-201-7741](tel:093-201-7741)

ホームページ: <http://hidamari.ie.jp> e-mail: jyosanin@hidamari.ie.jp



災害対策委員報告

災害対策委員 田中 綾子

災害対策委員会研修会「九州北部豪雨に学ぶ防災」報告・避難訓練報告

令和元年11月30日 朝倉災害母子支援センター事務局長大庭きみ子氏と福岡県助産師会会員でもある松元久美子助産師に朝倉災害母子支援センターの取り組みについて話していただきました。人と人が繋がる。行政内、人と行政、近隣の自治体が繋がる。繋がることでより良い支援ができることを知りました。いざ避難という時の為に、昔ながらの晒や一本紐での抱っことおんぶの体験。非常食調理の紹介としてローリングストック法、パッキング（切り干し大根と鯖缶の炊き込みご飯など）の紹介、試食をしましたが意外と美味しいと好評でした。

また、10月5日理事会構成員で避難訓練を行いました。通報訓練も実際「119番」で行いましたが（通報訓練には事前報告が必要です。）、固定電話の通信異常で一度かけた電話が途切れ、折り返し電話をかけても繋がらず、消防署は本当の通報かと勘違いされヒヤヒヤしました。私は3度目の避難訓練でしたが、日ごろから訓練して慣れておくことの大切さを痛感しました。



母子保健情報交換会・交流会報告

書記 仲道由紀

「梅の花」天神店で県内の母子保健関係者をお招きし、母子保健情報交換会・交流会が行われました。この会は今年で11年目となります。当日は、福岡県家族計画協会長、福岡県医師会常任理事、福岡県産婦人科医会副会長、福岡県看護協会助産師職能委員長、行政からは、福岡県、福岡市、北九州市の母子保健関連部署の皆様をお迎えし、本会の常任理事、理事を含めた24名が参加する中で行われました。

特に今回は、昨年末に産後ケア法案が可決され、市町村において産後ケア事業の整備が急がれている現状を踏まえ、本会の活動紹介の中で「産後ケアを含む実施可能なケア項目を掲載した助産所一覧」の配布を行い、ご紹介しました。また、ご来賓の皆様にも自己紹介を兼ね、母子を取り巻く現状やご活動等をお話いただきました。様々なお立場からのお話はとても刺激が多く、母子保健における多職種・他機関との協働の必要性を改めて実感するとともに助産師のケアの重要性を再認識することができました。終始和やかな雰囲気の中、交流を深められた貴重な機会をいただきましたことに感謝いたします。ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。



ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用いただけます。

GLORY.
汎用機売場 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます



投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL(092)472-4316



わたしたちはレイエット・メーカー
赤ちゃんといっしょの夢をみます。

産院内用ウェア寝具 / 退院時用品
プランニング & デザイン

わたしたちの商品は全国120店の百貨店で販売され、
700施設の産婦人科病院で採用いただいています。

株式会社 赤ちゃんの城

TEL:0942-37-8111 FAX:0942-39-5184
「赤ちゃんの城」HP URL: <http://www.baby.co.jp/>

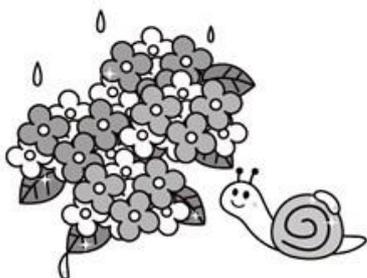
産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313

福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



水と、空気と、睡眠と。

TUK 東洋羽毛



Lumone

暖かさに
包まれる
贅沢なひととき。



羽毛足首ウォーマー 冷えは女性の大敵!

皆様に愛されて
24万4,568個*

◇いつでも ◇どこでも ◇どんな季節も

※2018年2月現在

東洋羽毛九州販売株式会社

福岡営業所 0120-104557

鹿児島営業所 0120-881125

長崎営業所 0120-104203

熊本営業所 0120-382808

宮崎営業所 0120-104039

福岡県助産師会役員等候補者」立候補 受付のお知らせ

推薦委員長 里山清子

2020年度（次年度）役員改選に伴う「福岡県助産師会役員等候補者」立候補の受付を開始致します。立候補される方は下記概要を確認の上、期限内に立候補届出用紙を提出してください。

【立候補概要】

1. 対象となる役員の役職名

・会長 ・副会長 ・書記 ・会計 ・監事

2. 立候補者資格

正会員（福岡県内に在住又は勤務する助産師であって、本会の目的に賛同し入会した者）

3. 提出先

〒810-0014 福岡市中央区平尾 1-3-41 一般社団法人 福岡県助産師会 推薦委員長宛

※福岡県助産師会 HP お知らせ欄に掲載している立候補届出用紙をダウンロードし、必要事項を記載の上、郵送にて上記住所までお送りください。立候補届出用紙をダウンロード・印刷ができない場合は、福岡県助産師会代表携帯電話（080-2779-6708）にご連絡ください。立候補届出用紙を郵送にてお送り致します。

4. 提出期限

2020年3月31日(火)



会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記のQRコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページにお入りください。

または、下記へ連絡をお願い致します。

〒811-3507

宗像市多禮 598

田中 啓子（福岡県助産師会 会計）

TEL 090-9721-6590

FAX 092-943-4576（愛和病院内 田中宛）

メール hiroko.tanaka@aiwa-hospital.or.jp



福岡県助産師会入会案内



福岡県助産師会 HP

ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。



一般社団法人 福岡県助産師会ニュースレター 第72号 2020年2月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 上野 恭子

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <http://www.fukuokajyosanshi.com>

【編集後記】

現在コロナウイルスの感染が、人々を脅かしています。一人一人がしっかり予防をし、これ以上の感染拡大を防いで 国を守りましょう！！

広報委員 高橋愛・原武・松山・長谷川・益永・高橋春